

今月の新着本

わたしを離さないで	カズオ・イシグロ	忘れられた巨人	カズオ・イシグロ
マジ文章書けないんだけど	前田安正	キラキラ共和国	小川糸
十三階の女	吉川英梨	たゆたえども沈まず	原田マハ
スリーパー浸透工作員	竹内明	屍人荘の殺人	今村昌弘

☆児童書・えほん☆

なりきりえほん おめん	わだことみ	どんな いろが すき	100%ORANGE
-------------	-------	------------	------------

お勧めの本

花になるらん 玉岡かおる	「高島屋にいきさえすれば何でもある、皆様のために百の品をそろえている、そんな、どえらい商売、やりまひょか」 京都の呉服屋「高島屋」のご寮人さんが目指したのは、皇室御用達の百貨店。 「作っとくはなれ、とびっきりの品を。うちが、打ってみせますで」のれんを背負い動乱の幕末から明治を生きた女主人の物語。
また、桜の国で 須賀しのぶ	世界を覆うまやかに惑わされることなく、常に真実とともにあれ。 1938年10月1日、外務書記生の棚倉慎はワルシャワの在ポーランド日本大使館に着任した。ロシア人の父を持つ彼には、シベリアで保護され来日したポーランド人孤児の一人、カミルとの思い出があった。 先の大戦から僅か20年、世界が平和を渴望する中、ヒトラー率いるナチス・ドイツは周辺国への野望を露わにし始め、緊張が高まっていた。 慎は祖国に帰った孤児たちが作った極東青年会と協力し、戦争回避に向け奔走、やがてアメリカ人記者レイと知り合う。だが、遂にドイツがポーランドに侵攻、戦争が勃発すると、慎は「一人の人間として、生きる決意を固めていくが…。面白いので一気に読めました。

〈利用できる日時〉 月・水・木・土・日曜日 午前9時～午後9時

〈利用できない日時〉 火・金曜日の休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

〈交通〉 相模鉄道 三ツ境駅より徒歩20分

* 駐車場がありませんので、徒歩か自転車でお越しください。

* 東野中学校東門（老人ホーム東野園側）よりお入りください。